

令和7年度 学校評価結果について

糸島市立前原西中学校 校長 光益 ゆかり

本校では、教育活動の充実と改善を図るため、学校自己評価および学校関係者評価を実施しました。その結果と今後の改善方策についてお知らせします。

1 学校の自己評価の結果

本年度は、「郷土を愛し、心豊かでたくましく、主体的に学ぶ実践力を身につけた生徒の育成」を学校運営方針とし、教育活動に取り組みました。

各評価項目における主な成果は以下の通りです。

- **組織運営の充実**

学校経営ビジョンや重点目標の共有を図り、組織的な教育活動を推進しました。校務支援システム等の活用により、情報共有や課題分析の効率化が進みました。一方、ICT活用における教職員間のスキル差の解消が課題として残りました。

- **学力向上**

授業規律の確立とICTを活用した授業改善により、生徒の学習理解（授業評価「わかった・できた」平均3.5）に一定の成果が見られました。ただし、学力差や主体的な学習態度の育成、家庭学習習慣の定着が課題です。

- **生徒指導**

いじめ・不登校対策委員会を中心に組織的な対応を進め、早期発見・早期対応の体制が向上しました。しかし、報告・連絡・相談の徹底や不登校支援のさらなる充実が必要です。

- **地域連携**

学校運営協議会や地域行事への生徒参加を通じ、地域とのつながりを深めることができました。今後は、より多くの生徒が関わる機会の拡充と地域人材の継続的活用が課題です。

2 学校関係者評価委員会が出された意見

学校関係者評価においては、本校の教育活動に対し、次のような意見が示されました。

- 学校経営方針や重点目標が明確に共有され、校長のリーダーシップのもと協働的な組織運営が機能している。
 - ICT活用や校務の効率化が進み、教職員の連携や資質向上につながっている。一方で、教職員間のICT活用力の差への対応が必要である。
 - 生徒に寄り添った丁寧な指導により、安心して学べる環境が整っている。今後は学力差や学習意欲の向上への取組を一層充実させる必要がある。
 - いじめや不登校への対応は組織的に行われているが、関係機関との連携強化が重要である。
 - 地域との連携が進み、生徒の成長につながっているが、活動参加の裾野の拡大が望まれる。
-

3 評価結果を踏まえた学校運営の改善点

自己評価および学校関係者評価の結果を踏まえ、次の点を重点的に改善していきます。

- **組織運営の充実**
 - ・校内研修や OJT の充実により、教職員の ICT 活用力の向上を図る
 - ・校務のデジタル化をさらに推進し、効率化と働き方改革を両立する
- **学力向上**
 - ・ICT を効果的に活用しつつ、「書いてまとめる力」を育成する授業改善の推進
 - ・家庭と連携し、自主的な学習習慣の定着と学習意欲の向上を図る
- **生徒指導**
 - ・教育相談体制を強化し、いじめ・不登校の未然防止と早期対応を徹底する
 - ・生徒が安心して自己表現できる環境を整え、社会性や思いやりの心を育成する
- **地域連携**
 - ・情報発信を充実させ、地域や家庭との信頼関係を一層強化する
 - ・地域活動への参加機会を拡大し、多くの生徒が地域と関わる場を創出する